

活動名称 (40字以内)	地域イトコ発見プロジェクト ～フィールドワークから学ぶ地域の健康～		
団体名等	大学院医学系研究科 医学教育国際研究センター医学教育学部門		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		7 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019/8/24(土) ～ 9/2(月)	主な活動場所	島根県雲南市
	10 日間		
目的	地域の特徴、住民の生活や暮らしについてのフィールドワークを通して、地域アセスメントを進めながら、地域づくりと健康増進・地域医療について学ぶ。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>このフィールドワーク体験活動では、島根県雲南市(ヤマタノオロチ伝説で有名)をフィールドとして、地域の特徴や人々の暮らしと健康の関係を学び、まちづくり・地域づくりの観点から健康増進や地域医療を学びます。</p> <p>具体的には、地域アセスメント(地域診断)という方法を使って、あらゆる地域生活関連情報から、地域の人々の顕在的・潜在的ニーズと健康課題を分析し、地域ごとのさまざまな特性を把握します。また、地域の「いいところ探し」(地域の資源・対処力)を通して、地域の課題を地域の人々と協働して、解決に向けてアクションプランを作ります。</p> <p>フィールドワークの手法としては、地域の人々へのヒアリング、地区踏査(まちあるき)、エスノグラフィ(暮らし体験)などを組み合わせ、座学・講義だけでは決して学べない内容を経験することができます。</p> <p>宿泊は地域のキャンプ場(コテージ)を予定しており、大自然を味わいながら、ともに学ぶ仲間と語り合い、学び合える環境が整っています。</p> <p>講師陣は、医師、看護師、保健師などに加え、地域づくりの専門家、地域の健康政策を担当する方、地域住民の代表など、さまざまな専門家が、皆さんの学びをサポートします。</p> <p>《プログラム概要》 1日目：オリエンテーション、レクチャー 2日目：フィールドワークの計画立案、地域行事体験 3～7日目：フィールドワーク(ヒアリング、地区踏査、暮らし体験、住民宅訪問など)、フィールドワーク振り返り 8日目：地域アセスメントとアクションプランの発表会 9日目：全体振り返り 10日目：修了式、クロージング</p>		
備考	10日間全体の参加が難しい場合は、部分的な参加も可能とします(最低4日間より、応相談)。		
参加するための費用※	内 訳(1名当たり)	その他※特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 3,000/泊 円 (食費) 実費 円 () 円 計 円	奨励金額 35,000 円	
ウェブサイト等	雲南市: http://www.city.unnan.shimane.jp/www/toppage/000000000000/APM03000.html 雲南市立病院: http://unnan-hp.jp/ NPOおっちらボ: https://www.facebook.com/occhilabo 大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門: http://www.ircme.m.u-tokyo.ac.jp/		